

直球の人 西尾 明

身長185センチメートル、筋骨隆々の体つきにサングラス。マーシャル・鈴木総合法律グループの筆頭パートナーで米カリフオルニア州弁護士、鈴木淳司さんの第一印象は正義の味方とはかけ離れていた。

16年前の全米将棋大会に、行方尚史八段や野月浩貴八段、中井広恵女流六段らと向かった。中井さんが中学の同級生に会いにいくところについて行った。それが鈴木さん。ヨセミテ公園近くの別荘に伺い、特製のタレに漬けた牛ブロック肉、通称「鈴木肉」のバーベキューをこちそりになるつち意気投合。将棋にも興味を持つてくれ、鈴木さんが来日した際などにお会いするよつになつた。

高校生で単身渡米して道を切り開いた鈴木さんは、何事も直球で語ってくれる。「弁護士も棋士も終盤粘つて目標達成するのが仕事だろ」。私の将棋の淡泊さを指摘されたのはグサッと来た。ここまで言ってくれる人はなかなかいない。一緒に台湾旅行に行くなど、今では家族ぐるみの付き合いをさせて頂いている。

レストランやスーパーの店員に気さくに話しかけ、道端でいかつい人に絡まても一歩も引かない鈴木さん。コミュニケーションを大事に正義を貫く。それが弁護士としてのポリシーなのだ。何度も聞いても、「鈴木肉」のレシピは企業秘密だという。(にしお・あきら=将棋棋士)